

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.10 (1962. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19621001--001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19621001--001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

# 三田学会雑誌

1962年 10月号

## 論 説

- コミュニティオーガナイゼーションの諸側面……………小島栄次 1  
—社会事業の概念の問題と関連して—
- 地方公共団体の「立地政策」……………高橋潤二郎 29  
—その基本的諸問題—

## 資 料

- 西南ドイツの局地市場……………寺尾 誠 53  
—ロベルト・グラッドマンの所論を中心に—

## 研究ノート

- 社会政策研究と社会経済史学……………飯田 鼎 67  
—岡田与好著「イギリス初期労働立法の歴史的展開」によせて—
- 恐慌理論にかんする一論点……………井村喜代子 78  
—固定資本の再生産をめぐる諸論議について—

## 書 評

- 永井義雄著「イギリス急進主義の研究——空想的社会主義の成立——」……………白井 厚 94

## 新刊紹介

55 卷 **10** 号

昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日

第三種郵便物認可  
行(毎月1日発行)  
九〇三号

昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日  
昭和37年10月1日

第三種郵便物認可  
行(毎月1日発行)  
九〇三号

三田学会雑誌

昭和三十七年九月号

定価 金二〇円 (送料別)

# MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 55, No. 9

September, 1962

## CONTENTS

Reexamination of Some Fundamental Questions of the Fiscal Science .....	<i>J. Takagi</i>	page 1
The Shifting and Incidence of the Corporate Income Tax in Japan .....	<i>S. Furuta</i>	29
Notes on the Agrarian History of France in the Sixteenth and Seventeenth Centuries .....	<i>K. Watanabe</i>	48
A. S. Jerussalimski's Critics on the Recognition of the International Relations (1895-1899) by the SPD (Social-Democratic Party of Germany). —From his writings: Die Außenpolitik und die Diplomatie des deutschen Imperialismus Ende des 19. Jahrhunderts— .....	<i>S. Shoda</i>	60
<b>Book Reviews</b> The Study of a Feudal Village (kaitaiki hōkennōson no kenkyū), by Y. Nakamura and others .....	<i>A. Hayami</i>	73

Published for  
**KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI**  
 (The Keio Economic Society)  
 Editorial communications to be sent to  
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai  
 Keio University,  
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.  
 Price 120 yen

新刊紹介

小島 清著『世界経済と日本貿易』	矢内原 勝	99
高島善哉著、水田洋明著『社会思想史概論』	野地 洋行	99
田口憲一著『大企業は暗躍する』	佐藤 芳雄	100
向坂逸郎著『マルクス伝』(『マルクス・エンゲルス選集』13)	飯田 裕康	101
下村 治著『日本経済成長論』	丸尾 直美	102

コミュニティオーガナイゼーションの諸側面

—社会事業の概念の問題と関連して—

小島 栄次

はしがき

社会事業の主要方法としてケースワーク・グループワーク・コミュニティオーガナイゼーションの三つを挙げるのが普通であるが、(一) 現在では社会事業の存在がこれら独特の方法の故に認められると考えられること、(二) その故にまた、古い伝統的な社会事業の概念、即ち昔の慈善事業のあとを受けついで上に若干の科学的性質と社会連帯精神とを帯びたものに過ぎないという概念から遠いものであること、従ってまた、(三) これらの方法を用いて我々人間の生活を向上させ得る新しい領域が広く残されていると考えられること、はまだ一般に十分認められているようには見えない。本誌に収載された拙稿「学校社会事業について」(一九五七年一〇—十一月合併号)「グループワークの社会事業における位置」(一九五八年八月号)によって、ケースワーク及びグループワークについてこれらの点を明らかにしようとしたが、本稿ではコミュニティオーガナイゼーションについて書きたいと思う。それに関連しては、コミュニティとは何かという疑問や、人間生活におけるコミュニティの意義の評価、従ってまたコミュニティオーガナイゼーションの意義の評価についての疑問のような、解答至

コミュニティオーガナイゼーションの諸側面